

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

和歌山版女性・高齢者の活躍支援

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県

3 地域再生計画の区域

和歌山県の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

離職後、再就職を希望する女性にとって、新卒時のような「就活の仕組み（サイクル）」がなく、再就職が困難な状況。

また、高齢者が従事する求人内容は清掃など軽作業・単純作業が中心であり、各々が有する知識、技能、経験がいかしきれていない。

4-2 地方創生として目指す将来像

本県では、全国より早く高齢化が進み、生産年齢人口の減少が見込まれていることから、産業を担う労働力の確保が求められている。

しかしながら、単に働くことだけではなく、誰もがその意欲と能力に応じて社会参加できる様々な機会を創出するなど、生きがいを感じる社会づくりが必要である。

そのため、働く意欲のある女性や高齢者のそれぞれのライフスタイルに応じた働き方が実現できるよう、再就職、社会参加に向けた新たな仕組みを構築することにより「誰もが活躍できる社会」をめざす。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
女性の就職率 (%)	40.0	0.5	1.0	2.0
「わかやま元気シニア生きがいバンク」活用件数 (件)	0	20	30	50
テレワーク就職者数 (名)	20	10	10	10

	KPI増加分の 累計
女性の就職率 (%)	3.5
「わかやま元気シニア生 きがいバンク」活用件数 (件)	100
テレワーク就職者数 (名)	30

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

結婚・出産等で離職した女性の再就職支援や家庭における仕事と子育ての両立支援を推進するとともに、ボランティアやNPO活動等を希望する高齢者と企業や団体等のマッチング等を促進することにより、働く意欲のある女性や高齢者のそれぞれのライフスタイルに応じた働き方を実現する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

和歌山県

② 事業の名称：和歌山版女性・高齢者の活躍支援

③ 事業の内容

〔女性〕

結婚・出産等で離職した女性の再就職を支援するため、和歌山県独自の就活サイクルを構築する。

家庭における仕事と子育ての両立を支援するため、テレワークフェアを開催し、テレワークの認知度向上、普及促進を図る。

〔高齢者〕

ボランティアやNPO活動等を希望する高齢者と企業や団体等を結びつけるため、社会参加を希望する高齢者の人材バンクを整備する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

女性や高齢者が活躍する仕組みを構築することにより、産業を担う労働力が確保でき、地域産業、経済の活性化が図られ、税収増が見込まれる。

【官民協働】

労働力人口が減少している中、県と企業等が連携し、女性や高齢者など潜在して

いる労働力を掘り起こすことにより、必要な労働力を確保し、誰もが活躍できる社会をめざす。また、企業の協力により、和歌山県独自の就活サイクルシステムを構築することは、先駆的な取組である。

【政策間連携】

若者だけではなく、再就職を希望する女性、高齢者が社会で活躍する仕組みを構築することにより、労働力の増加、産業振興に繋がる。また、テレワークなど女性が働き方を選択できることにより、子育て支援にも寄与する。

【地域間連携】

県内各エリアの中核的な市町村と連携を図り、合同企業説明会を実施することにより、より多くの再就職を希望する女性の就活を支援することが可能となる。

【その他の先導性】

特になし。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
女性の就職率 (%)	40.0	0.5	1.0	2.0
「わかやま元気シニア生きがいバンク」活用件数 (件)	0	20	30	50
テレワーク就職者数 (名)	20	10	10	10

	KPI増加分の 累計
女性の就職率 (%)	3.5
「わかやま元気シニア生きがいバンク」活用件数 (件)	100
テレワーク就職者数 (名)	30

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を和歌山県が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

産学金の外部有識者による評価委員会で検証を実施し、検証結果を県議会半島振興・地方創生対策特別委員会に報告するとともに、目標値に届かない場合は事業内容の見直しを実施する。

【検証結果の公表の方法】

検証結果は県ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 164,213千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を和歌山県が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

産学金の外部有識者による評価委員会で検証を実施し、検証結果を県議会半島振興・地方創生対策特別委員会に報告するとともに、目標値に届かない場合は事業内容の見直しを実施する。検証結果は県ホームページで公表する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
女性の就職率 (%)	40.0	0.5	1.0	2.0
「わかやま元気シニア生 きがいバンク」活用件数 (件)	0	20	30	50
テレワーク就職者数 (名)	20	10	10	10

	KPI増加分の 累計
女性の就職率 (%)	3.5
「わかやま元気シニア生 きがいバンク」活用件数 (件)	100
テレワーク就職者数 (名)	30

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、和歌山県が3月末時点で県ホームページにより公表を行う。